

2021年4月1日 更新

学生版

地震災害 対応マニュアル



神戸国際大学

建物の損壊や交通機関に大きな被害がでるような地震（震度6弱程度以上が目安）が発生した場合は、本マニュアルを参考にして、身の安全を守り落ち着いて行動してください。

地震発生直後

ゆれがおさまった

地震発生

ゆれている

落下物はあるか？

Yes

安全な所へ退避する

No

じっとして動かない

全員

そのまま
2号館
4階へ集合
(ミカエルホール)

大学内

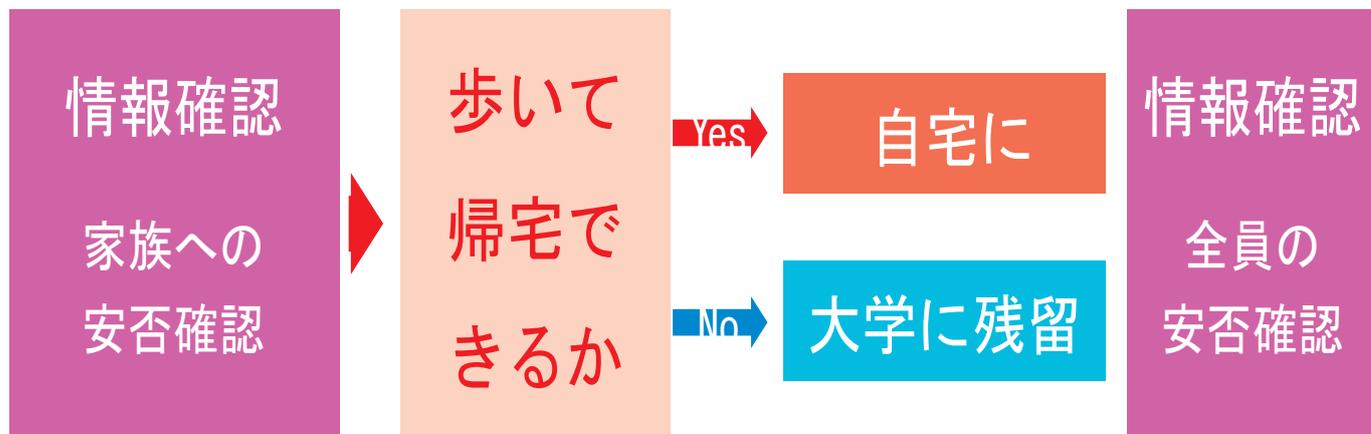
- 窓ガラス、電気器具、棚、自販機の落下や転倒から逃げる。
- 教室から屋外へ出る必要はない。
- エレベーターの中であれば、全ての階のボタンを押し、止まった階ですぐ外へ出る。
- ゆれがおさまったら2号館4階へ集合する
- 教職員の指示に従い騒がず冷静に行動する。
- 散乱するガラスに注意し、エレベーターを使わない。
- 低い階に物を取りに戻らない。友人と協力して安全確認する。
- 障害者を手助けし、負傷者を手当てす

通学中

- 窓ガラス、ブロック塀、看板、自販機などの落下や転倒から逃げる。
- ビルや地下街の中から、野外へ出る必要はない。
- 落ち着いて、周囲の状況を見回して、安全な所へ一時避難する。
- エレベーターを使わない。
- 鉄道員、警官、消防士の指示に従う。
- 煙や火災から速やかに遠ざかる
- 自家発電の点灯を待つ。

津波に対応

津波がおさまった



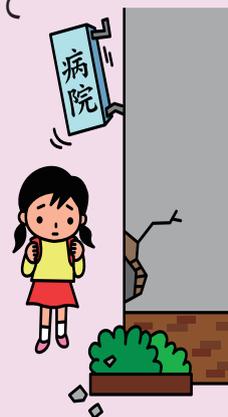
- 津波のおそれのあるときは、60分後の第1波、その後の数波をやり過ごす。
- その間、屋外には出ず、また低い階へ物を取りに下りない。
- 車やバイクの駐車場へ行かない。
- 学生は安全点呼を受け、教職員の指示に従う。
- 神戸市の臨海部は津波があれば大混乱している。帰路（道路、鉄道、工場など）が安全か、大学が情報収集した後、20km以内なら友達と一緒に帰宅する。（夜間は行動しない。女子は一人で行動しない。）
- 残留者は協力して食事をとり、休む。



- 津波が来る可能性のある地区なら、60分以内に3階（数m）以上のビルにあがる。

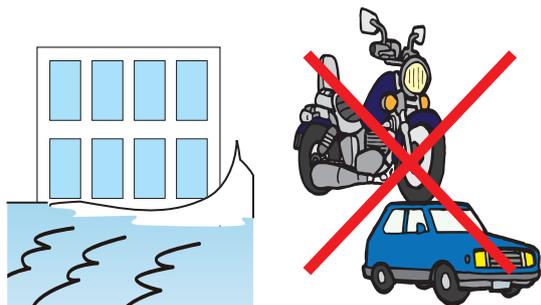


- 帰路の安全を確かめてから行動する。



津波が予想されるときは 2号館の4階へ避難を！

- 地上や1階は、浸水のおそれがあります。このため、大きな津波が予想される地震が発生した場合は、学生のみなさんはゆれが収まったら直ちに校舎の上層階(2号館4階)へ避難して下さい。



勝手に避難・帰宅しない！ バイクや車を使わない！

- 津波警報が出てから島外へ逃げる時間はありません！間に合うと思ってバイクや車で逃げると、六甲大橋周辺で渋滞に巻き込まれ、かえって被害にあうおそれもあります。
- 六甲大橋を渡った先の工場地帯では地震による爆発火災や薬物流出などのおそれもあり、地震の直後に通行するのは大変危険です。

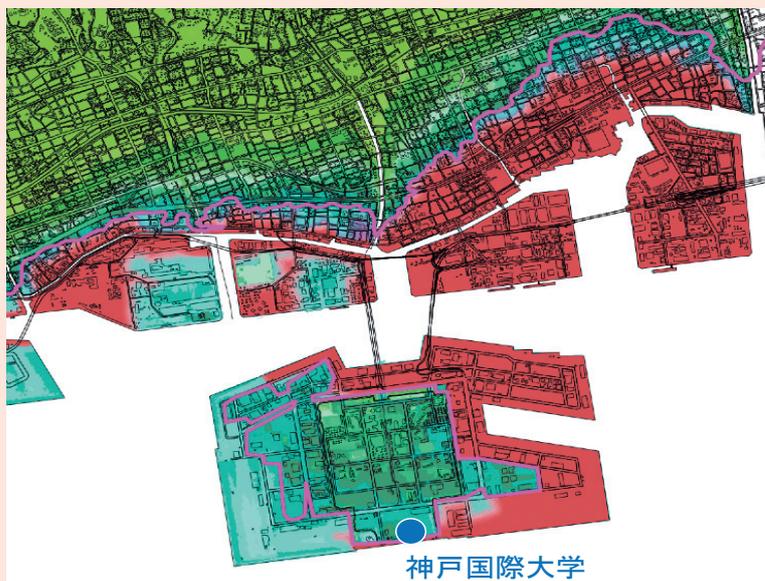
津波警報が解除され、帰宅の指示が出るまでは、個人の判断で勝手に行動せず、教職員の指示に従ってキャンパス内に留まって下さい。

東南海・南海地震は必ず起こる！ ゆれと津波が九州から関東の広範囲を襲う

六甲アイランドも神戸市も津波で浸水するおそれ！

津波の到達時間は、地震発生から最短で40分ほどと予想されています。

赤いところは、予想される最大津波高より標高が低い紫のラインより外側は津波警戒地域



神戸国際大学

家族への連絡方法

NTT 災害伝言ダイヤルサービス

地震など大災害発生時に、安否確認などの電話が爆発的に増加し、つながりにくい状況になった場合、提供されるサービス。

利用方法

伝言の録音

伝言の再生

- ① **171** へ電話をかけます。
ガイダンスが流れます。
- ② **1** をダイヤル **2** をダイヤル
- ③ 市外局番 + 自宅電話番号
市外局番 + 被災地の方の電話番号

事前に記入しておきましょう

市外局番

電話番号

<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>
----------------------	---	----------------------	---	----------------------

※ 被災地の方も、被災地以外の方も利用方法は同じです。

- 利用可能な端末／NTTの一般電話、公衆電話、携帯電話
- 蓄積伝言数／1 電話番号あたり1 ~10 伝言
- 録音時間／1 伝言 30 秒以内
- 伝言保存期間／ 2日間(48 時間* 自動消去)

事前のアプリダウンロードが必要です!

携帯各社の災害伝言板サービス

大規模災害時に携帯電話から安否確認（安否情報の登録）ができる災害用伝言板サービス。

あらかじめ指定したご家族や知人に対して、災害用伝言板に登録されたことをメールでお知らせする機能も提供される。また、インターネットからも安否情報の確認が可能。

各社のQRコード

NTTドコモ



au



ソフトバンク



NTTドコモ

https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_board/

au

<https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/sp-usage/>

ソフトバンク

<https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/boards/>

日頃の準備

大地震の発生を防ぐことはできなくても、適切な準備を行うことで被害を軽減することができます。どんな備えが必要か考えておきましょう。

- 避難場所の確認(大学付近および自宅周辺等)
- 家族との連絡方法および待ち合せ場所の確認
- 災害伝言サービスの確認と登録(メール宛先等の事前登録が必要)
- 帰宅ルートおよび所要時間の確認(災害時徒歩約2.5km/h)
- 緊急時メモの作成・記入
- 具体的な情報収集手段および緊急避難場所等の確認(大学および通学途中)
- 転倒防止や緊急時アイテムの確認
- 大学および友人等への連絡方法の確認およびリスト整備